



センターだより



夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

「四日市市就学前教育・保育カリキュラム 活用版」

「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高めるために……



みなさん、こんにちは。10月号に引き続き、よろしくお祈いします。今日は、先月告知のあった「四日市市就学前教育・保育カリキュラム活用版」（以下活用版と記載）の最新情報を伝えようと思っって登場しました。



え、え、よっちゃん、どういふこと「活用版」といふば、1月に「四日市市幼児教育・保育研究協議会」が開催されて、中身が検討されたんじやないの。

また、私たちが表紙を飾れるのかなと期待しているんだけど。ちーちゃん、表紙に登場するよう依頼が来ているか知っている？



もちろん、藤原所長から連絡があっって、今度は保育者の皆さんのモチベーションアップにつながるようなリズムに乗った表紙になるみたいだよ。



四日市市幼児教育・保育研究協議会会長であり、三重大学教授富田先生が巻頭言を寄せていただいたんだっって。そして、西村部長と廣瀬教育長の挨拶文もあり、四日市市の保育者一人ひとりに配布される「活用版」の重要性を感じるね。



「第4期教育振興基本計画」に、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」がコンセプトしてあげられているんだ。そこに『子供たちのウェルビーイングを高めるためには教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要。また、子供たち一人一人のウェルビーイングが、家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していくという姿の実現が求められます。』とあり、今回の「活用版」の発刊は、このコンセプトを実現する方向性と重なっているね。



各施設に配布された「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」を基に、保育者にとっっても分かりやすく、こどもの育ちについて保護者ともやり取りできる「活用版」となるようにとの思いが込められているんだね。



そうなんだ、ちーちゃん、よく知っているんだね。早く、中身を見てみたいなあ……、楽しみだね。「活用版」は一人に1冊あるっることがまず、保育者が安心できる入口だね。そして、保育者のつながりの中で、「活用版」を実践し、発展させ、情報をアップデートできるようにしていきたいね。保育者自身が主体者として就学前教育・保育の実践者として、実践を交流し、自身の振り返りの糧として往還的な学びを積み重ねていけるよう、これからも幼児教育センターと共に進んでいきましょう。それでは、またの機会に、お会いしましょう。さようなら。

11月に行われた「IV実践研修」での公開保育(研究)実践検討会の内容は4月以降に研究紀要第2集として発刊予定です

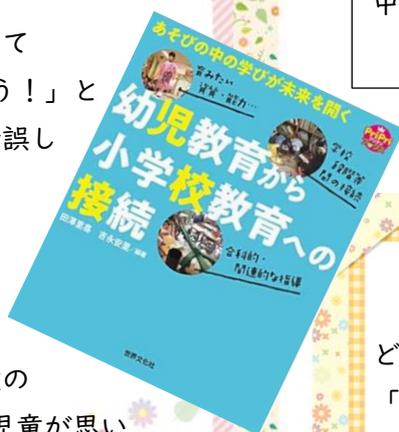
そうなんだね!

公開保育(研究)実践検討会では、ZOOMを含め、グループでのワークショップを通して、参加者の皆さんが積極的に意見交流し合うことができました

いいね!

幼児期に自らいろいろなことに対して「どうなっているの?」「やってみよう!」と興味や疑問を持ち、自分なりに試行錯誤していた子ども達であれば、きっと身につけているはずです。まさにあそびのなかで見られる姿ですから……。

本書は、そんな自発的でワクワクしながら試行錯誤している就学前施設のあそびの事例と、「おもしろい!」と児童が思い「45分の授業時間なんてあっていう間!」と感じる小学校の授業の事例を掲載したものです。



中央法規出版株式会社
石井章仁 著



「なぞルール」はどんな園にも存在します。

「うちには、『なぞルール』がない」という固定的な意識こそ留意すべきです。「なぞルール」をそのまま放置しては、時代から取り残されてしまいます。まずは、「なぞルール」さがしからはじめましょう。